



SIP(戦略的イノベーション創造プログラム) 概要

内閣府

政策統括官(科学技術・イノベーション担当)

創設の背景

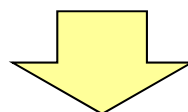


私たちは再び**世界一を目指します**。
世界一を目指すためには、**なんと**
言ってもイノベーションであります。

安倍政権として、新しい方針として、
イノベーションを重視していく。その
ことをはっきりと示していきたい。

第107回総合科学技術会議 総理発言

- **科学技術イノベーション総合戦略**（平成25年6月7日閣議決定）
- **日本再興戦略**（平成25年6月14日閣議決定）



総合科学技術・イノベーション会議の司令塔機能強化



総合科学技術・イノベーション会議
Council for Science, Technology and Innovation

プログラムの概要

<SIPの特徴>

- 社会的に不可欠で、日本の経済・産業競争力にとって重要な課題を総合科学技術・イノベーション会議が選定。
- 府省・分野横断的な取組み。
- 基礎研究から実用化・事業化までを見据えて一気通貫で研究開発を推進。規制・制度、特区、政府調達なども活用。国際標準化も意識。
- 企業が研究成果を戦略的に活用しやすい知財システム。

<平成26年度予算>

- 内閣府計上の「科学技術イノベーション創造推進費」を平成26年度政府予算案において500億円確保。

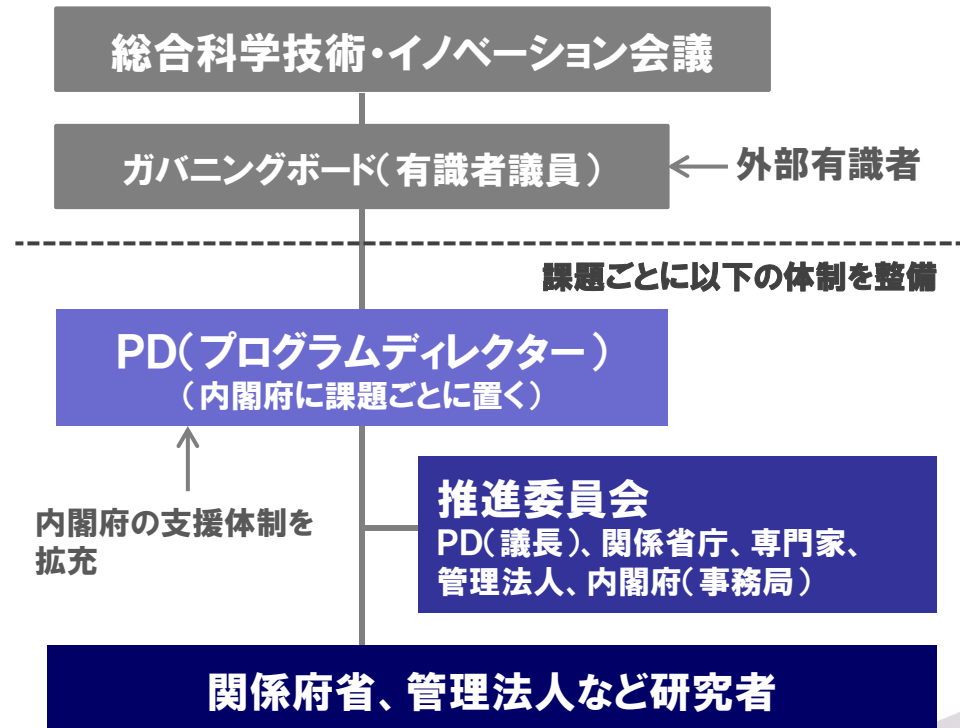
(予算の流れ) 内閣府→A省へ移し替え→(管理法人→) 研究主体



プログラムの概要

＜実施体制＞

- 課題ごとにPD（プログラムディレクター）⁺を選定。
+ 平成26年5月までは政策参与。
- PDは関係府省の縦割りを打破し、府省を横断する視点からプログラムを推進。
- ガバニングボード（構成員：総合科学技術・イノベーション会議有識者議員）が評価・助言を行う。



公募により、産学からトップクラスのリーダーを
PD（政策参与）として選出



総合科学技術・イノベーション会議

Council for Science, Technology and Innovation